

なすからすやま

No.159

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 食育推進計画第3期がスタート……	2
健康福祉まつり……	6
中学生海外派遣事業……	8
市文化祭……	10
市表彰式……	11
消防通常点検……	12
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム……	15
まちのわだい……	16
インフォメーション……	18
鳥山高校の紹介・ジオパーク構想だより……	20

2018
December
12

楽しみに挑戦！(11月20日 鳥山小学校)



那須烏山市食育推進計画第3期がスタート

「こころ」も「からだ」も 健康的な生活を送ることをめざして

平成30年5月から、那須烏山市食育推進計画第3期がスタートしました。基本理念に「食育を通じて市民一人ひとりが食の大切さを理解し、感謝の気持ちを持つことで、「こころ」も「からだ」も健康的な生活を送る」を掲げ、「食育」の大切さを積極的に普及していきます。

今月号では、計画の概要などを紹介します。

那須烏山市食育推進 計画第3期を策定

市では食に関する様々な問題を解決するために、平成30年5月に食育推進の目標と方向性を示した「那須烏山市食育推進計画第3期」を策定しました。

これは、食育基本法（平成17年6月施行）に基づき、平成25年6月に策定した那須烏山市食育推進計画第2期の期間が満了したため、第3期計画としてまとめたものです。策定にあたっては、これまでの成果や課題、社会情勢や環境変化等を考慮し、前計画を検証しながら進めてきました。

第3期計画では、これまでの計画により浸透してきた食育を、より一層推進しつつ、実践へ向けた取り組みに重点を置き、「こころもからだも健康的な生活を送ること」の実現に向けて、3つの基本目標を掲げています。（図表1参照）

また、家庭、教育、地域、産業、環境のそれぞれの分野における食育推進のための具体的な取り組みや方向性について示しています。（図表2参照）

図表1 那須烏山市食育推進計画第3期による基本理念と基本目標

【基本理念】

食育を通じて市民一人ひとりが食の大切さを理解し、感謝の気持ちを持つことで、「こころ」も「からだ」も健康的な生活を送ることを目的とします。

【基本目標】

1) 食に親しむ機会を増やし、感謝するところを持ちます

- 家族や誰かと一緒に食事をする共食の重要性を理解します
- 料理・農業体験などに参加する機会を増やします
- 食文化や郷土料理など、地域の特徴を大切にします

2) 健康的な食生活を送ることができる知恵と力を身に付けます

- 早起き・早寝、1日3食を習慣づけ、健全な心身を養います
- 食がからだに与える影響を知り、子どもの頃から生活習慣病を予防します
- 栄養バランスを考えた食生活を送ります

3) 食の安全に対する生産者・消費者の相互理解を深め、地産地消を広げます

- 食品に関する正しい情報を提供し、また、情報を得る機会を増やします
- 地場農産物の利用を増やし、地産地消の拡大に取り組みます
- 県、市、JA、生産者等関係機関は連携し、安全・安心な地場農産物の生産流通に努めます

図表2 各関係機関の食育推進のための具体的な取り組み

家庭

- ・規則正しい食生活習慣を身に付ける ・毎日朝食を食べる
- ・食を楽しみ、感謝の気持ちを持つ ・ライフスタイルの変化に応じた家庭での食育推進
- ・環境に配慮した取り組みの推進（食品ロスを減らす、リサイクルなど）

教育（学校、幼稚園、保育園等）

- ・食育事業や食育活動の実施 ・給食からの食育推進
- ・家庭への食育推進（保護者向けの学習会の開催など） ・農業体験などを通じた食育

地域（ボランティア、行政等）

- ・各世代（妊娠期、乳幼児期、学童・思春期、青壮年期、高齢期）に合わせた、家庭への食育推進
- ・食環境の整備 ・食に関する人材育成 ・食に関わる団体等との連携
- ・食育推進のための連携体制の構築 ・食の安全性に関する情報提供

産業（農業、商業等）

1) 地産地消の推進

- ・農産物直売所での販売促進 ・給食への地場農産物の活用 ・各種交流イベント

2) 農業、食品関連産業の食育推進

- ・農業関係者などの協力による体験活動 ・体験活動に関する情報提供の促進
- ・食農教育、教育ファームの取り組み ・生産者・食品事業者の食の安全への取り組み

環境

- ・自然環境や生活環境に配慮した食生活実践への情報提供（エコクッキング、リサイクル、マイバックの持参など）

食を取り巻く 現状と課題

「食育」とは、食育基本法において、「生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるもの」かつ「様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」とされています。すなわち、「健康的な生活を送れるように、食に関する様々な知識と食を選ぶ判断力を楽しく身につけるための学習等の取り組み」といえるでしょう。では、なぜ「食育」が大切なのでしょうか。

希薄化などが挙げられます。また、高齢期においては、高齢者の単独世帯の増加や低栄養傾向などの問題があります。

本市においては、特に若い世代の朝食の摂取状況が問題となっています。(グラフ1参照)年代が上がるにつれて、朝食を毎日食べる人の割合が減少傾向にあり、20代においては男女とも約半数が朝食を毎日食べていない状況です。小学生では約1割、中学生では約2割、3割がすでに欠食の習慣がある現状は、子どもの健全育成のうえで大きな問題となっています。

また、小・中学生を対象とした平成28年度給食と食生活に関するアンケート調査では、「学校給食が好きか」の問いに対し、小・中学生ともに96%が「好き」と回答しており、その理由を「みんなと一緒に食べられるから」と回答した小学生が約3割、中学生が約2割でした。

社会環境が大きく変化する中、食に関する価値観やライフスタイル等の多様化、世帯構造の変化等(単身世帯やひとり親世帯、共働き世帯などの増加)により、「食」をめぐる問題が数多く発生しています。具体的には、子ども・子育て世代の朝食欠食、好き嫌いや偏食、食物アレルギー疾患の増加や多様化・低年齢化、外食・中食(家に持ち帰って食べる総菜や弁当等)産業の進展による野菜摂取不足、乱れた食習慣による肥満や生活習慣病(がん、糖尿病等)の増加、「食」の安全性の問題、食料自給率の低下、伝統ある食文化等

その一方で、3、4年生を対象とした食育教室終了後のアンケート調査では、家での食事で1人または兄妹だけで食事をするところがあると回答した児童が3〜4割程度あり(グラフ2参照)、その頻度は週1〜2回が多いことから、家族構成やライフスタイルの変化等により家庭での共食(誰かと食事



親子料理教室。

を共にすること)が難しくなっていることが考えられます。他にも、小・中学生の痩せや肥満、壮中年の肥満など様々な問題があり、継続して取り組まなければならない課題は多い現状です。

このような様々な課題を解決するため、家庭、教育、地域、行政、産業等における食育の取り組みが重要となってくるのです。では、具体的にどのようなことが「食育」につながるのでしょうか。

○家庭では

- ・ 早起き・早寝を習慣づけ、1日3食、規則正しい食事をとる。
- ・ 主食、主菜、副菜をそろえる。
- ・ よく噛んで食べる。
- ・ 家族一緒にご飯を作り食卓を囲む。
- ・ 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする。

- ・ 食事の準備、片付けを手伝う。
- ・ お箸を正しく持つ習慣を身に付ける。
- ・ 苦手なものでも、まずは一口食べてみる。

- ・ 料理教室などに参加する。
- ・ 野菜を育てる。
- ・ 食事のマナーを学ぶ。
- ・ 食材を買い過ぎない。
- ・ 賞味期限、消費期限に気を付ける。
- ・ 食品の成分表示を確認する。
- ・ エコバックで買い物をするなど。

- 教育機関(学校、幼稚園、保育園)では**
- ・ 食育授業を実施する。
 - ・ 給食で伝統食、行事食を食べる機会をつくる。
 - ・ 学校農園で野菜を育てる。
 - ・ 保護者向けの学習会を開催するなど。

- 地域では**
- ・ 高齢者を地域行事に招く。
 - ・ 伝統食、郷土食の伝承に努める。
 - ・ 食育活動に関する行事やイベント等の実施など。

- 行政では**
- ・ ライフステージに合わせた食育事業を実施する。

- 【妊娠期】**母子健康手帳交付時等健康相談、妊婦・産後ママサロン

- 【乳幼児期】**乳幼児健診・相談

での栄養指導、離乳食相談、食育教室

【学童・思春期】小児生活習慣病予防個別相談、親子料理教室、高校生健康料理教室

【青壮年期】健診結果説明会、特定保健指導での栄養指導、食生活相談、生活習慣病予防健康教室、親子料理教室

【高齢期】介護予防教室(食事提供、低栄養予防)、配食サービス、料理教室

【全世代】食育イベント、汁物塩分濃度測定、農業体験、食育活動に関する行事やイベント等の情報発信、食育関連リーフレット等の作成・活用による普及・啓発など。

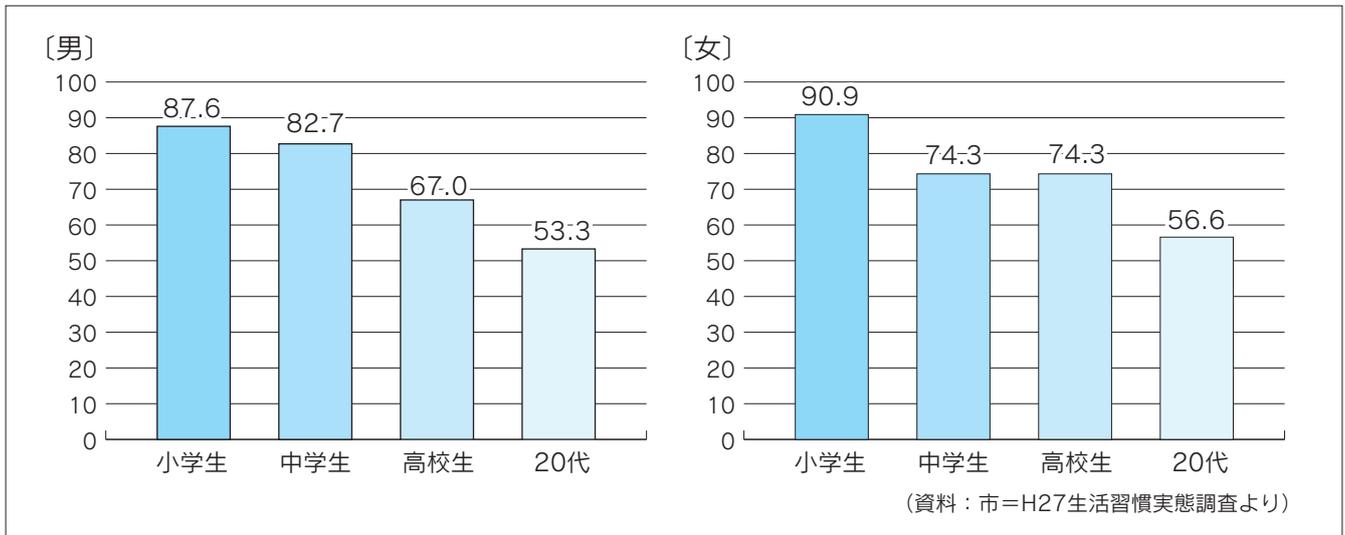
○産業(農業・商業)では

- ・ 無農薬・減農薬野菜の生産、衛生管理の徹底
- ・ 農業体験の場を市民に提供する。
- ・ 食品ロスの低減に努める。
- ・ 食品トレーなどのリサイクルに努めるなど。

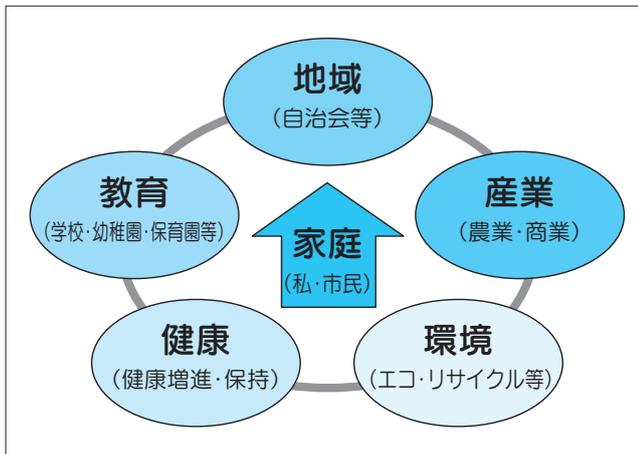
このように、家庭、教育、地域、行政、産業など、それぞれの立場で取り組むことは課題の解決の第一歩です。食に関する正しい情報を得て、自分で考え、自ら取り組むことは、食育においてとても重要です。まずは現状を把握し、少しずつ実践してみましよう。

グラフ1 那須烏山市民（若年層）の朝食を毎日食べる人の割合

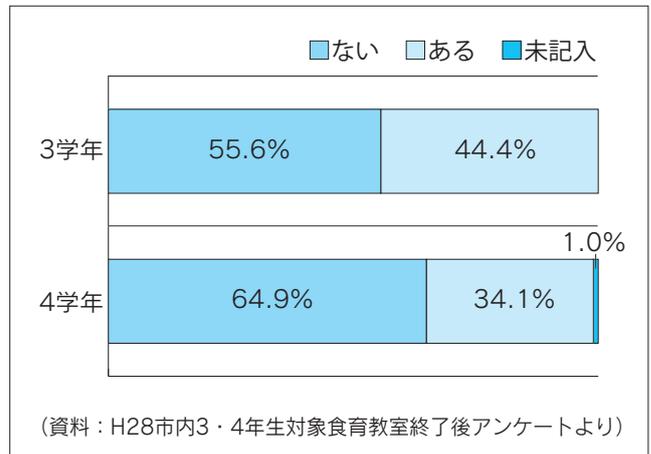
グラフ内単位：%



図表3 食育の環（わ）



グラフ2 家での食事で1人または兄妹で食事をするかどうか



江川小学校の給食配膳。

また、豊かな心の育成にもつながるのです。

家庭において望ましい食生活習慣や食に関する知識を身につける

広がる「食育の環（わ）」

食育の基本は「家庭（市民である個人）」です。生涯にわたって継続的に食育を進めていくためには、家庭の存在は不可欠であり、家庭においての食育を充実させていくことが重要になります。特に大切なのは、私たち一人ひとりが食に興味を持ち、規則正しい食生活習慣を送るように心がけること、家族だんらんを大切にすることです。家族がそろって楽しく食卓を囲むことで、親から子、そして孫へと世代を通じて食のマナーや感謝の心、食への知識などが受け継がれ、また、豊かな心の育成にもつながるのです。

食育は、これまでの10年間の取り組みにより着実に進展しています。市では、食をめぐる課題を踏まえ、今後も関係機関と連携・協働をしながら、市民の皆さんが食育に関する取り組みを実践しやすい環境づくりに努めます。また、取り組みに必要な「食育」の情報を発信し、各種事業を展開していきます。

「食」は人間が生きていくために欠かすことはできません。食育をおとして、皆さん一人ひとりが食育の意義や必要性を理解し、生涯にわたって心も体も健康的な生活を送りましょう。

「食」は人間が生きていくために欠かすことはできません。食育をおとして、皆さん一人ひとりが食育の意義や必要性を理解し、生涯にわたって心も体も健康的な生活を送りましょう。

「食」は人間が生きていくために欠かすことはできません。食育をおとして、皆さん一人ひとりが食育の意義や必要性を理解し、生涯にわたって心も体も健康的な生活を送りましょう。

これからの「食育」推進に向けて

3 参照

健康はみずから歩く一歩から、
心で結ぼう福祉の輪

健康 第13回 福祉まつり



①食育や体力測定などの健康コーナー／②クラブオアシスによる健康体操／③バランスボールを使った体操／④COOL CHOICE とちぎPRの魚釣りゲーム／⑤消防署による水消火器体験。

健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと、11月4日(日)、市社会福祉協議会を中心とした実行委員会による「第13回那須烏山市健康福祉まつり」が、保健福祉センターで開かれ、地域住民など2500人が訪れました。

会場では、市や地域おこし団体などにより、健康福祉体験・啓発交流コーナーや体力測定、骨密度検査などを行う健康コーナー、消防署による体験コーナーなど様々な催しが行われました。また、スタンプリリーや高齢者施設利用者、南那須特別支援学校の児童・生徒

の作品をはじめとした福祉標語・ポスターの展示も行われ、大勢の人でにぎわいました。

そのほかにも、那須烏山ふるさと太鼓保存会による太鼓の演奏やクラブオアシスによる健康体操などが披露され、イベントを盛り上げました。

なお、当日表彰式が行われた市民や市内外の小・中学生による福祉標語・ポスターコンクールでは、標語の部で荒川小4年角田南美さん、ポスターの部で境小5年石川寧々果さんの作品が最優秀賞に輝きました。

緑化活動を推進する 苗木配布と木工体験



市指定有形文化財(建造物)

太平寺仁王門(滝)



寛文元年(1661)、烏山城主であった堀美作守親昌が、亡き父親良の菩提を弔うために東江寺を滝田村に建立した際に、仁王門と仁王像を建造し、寛文12年(1672)に堀家が信州飯田へ転封の際、これらを太平寺に寄進移築しました。本市における唯一の楼門遺構で、一層目に仁王像(市指定有形文化財)を安置し、二層目には跳高欄(手すりや柵のようなもの)が設けられています。建造当初、屋根は茅葺きでしたが、現在は銅板葺きに変わっています。材は柱のみ樺材で、他は松材と杉材です。全体におおらかで素朴な力強さが見られ、当時の年代の特徴があらわれています。

支え合う社会づくりを目指して 人権ミニフェスタインなすからすやま

11月4日(日)、健康福祉まつりと併せて、市と宇都宮・日光人権啓発活動地域ネットワーク協議会による「人権ミニフェスタインなすからすやま」が保健福祉センターを会場に開催されました。

当日は、人権に関するポスターのパネル展示やチラシの配布などの人権啓発コーナー、特設人権相談が設けられました。また、サイン(手話)シンガーソングライターの渡辺りえこさんによる「共

に生きていこうとする気持ち」お互いを支え合う社会づくり」をテーマとしたトーク&手話ライブが行われました。

ライブでは、手話を使ったオリジナル曲が披露されたほか、手話の講話も行われ、参加者も一緒に手話をしながら音楽を楽しみました。また、阪神淡路大震災の経験をもとにしたDVDの上映も行われ、お互いを温かく支え合う社会づくりが啓発されました。



渡辺さんによる手話ライブ。

健康福祉まつりが開催された11月4日(日)、会場内で市緑化推進委員会による「苗木配布会」と「木工体験」が行われました。

苗木配布では、ブルーベリーの苗木400本が川俣純子市長やマロニエメイツから配布されました。

木工体験では、マイ箸づくり

が行われ親子連れなどがやすりを使って楽しく箸づくりをしました。

また、会場で行われた緑の募金では、1万6600円が集まりました。募金は、みどり推進機構を通じて市内の緑化に活用されます。

すくすく保育園の園児が 国見の山でミカン狩り楽しむ

ミカン収穫の最盛期を迎えた11月14日(水)、すくすく保育園の年長組の園児15人が、小木須の国見地区にあるミカン園で、ミカン狩りを体験しました。

国見地区のミカンは、品種改良していない観光果樹園としては日本の北限と言われています。通常のミカンよりも酸味があり、味が濃いことが特徴で、特に今年は例年になく甘みがあり、出来が良いそうです。

10月28日(日)から5つの園がオープンし、地域住民やバスツアーで訪れた観光客などで連日にぎわいを見せています。

当日、園児たちは観光果樹園の一つの国見山みかん園を訪問。日



ミカン狩りに挑戦する園児。

当たりの良い急斜面のミカン畑で同園の小森義男さんにもぎ取り方を教わった園児たちは、ネットいっばいにミカンを取獲し、笑顔を見せていました。



海外派遣に参加した派遣団と地元の中学生。

USA ウィスコンシン州 メノモニー市にホームステイ 7人の中学生が 他国の文化や教育を学ぶ



国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことを目的とした、市の中学生海外派遣事業が、9月24日(月)から10月2日(火)まで、9日間の日程で行われ、市内2つの中学校の2・3年生7人が、姉妹都市のアメリカ合衆国メノモニー市を訪れました。

派遣先では、ホームステイや学校生活とおして、アメリカの文化や教育などを体験しました。生徒たちは帰国後、現地での活動の様子や感想などを報告書にまとめました。その中から、異国の地で感じた驚きと感動を一部抜粋して紹介します。

また、市ではこれらの感想をまとめた英訳付きの英字新聞の編集を進めています。完成後は、参加した学校や派遣先のメノモニー市に送る予定です。

■僕は今回の海外派遣を通して、沢山のことを学び、とても充実した時間を過ごすことができました。ホテルに向かうバスの中でみたアメリカの景色は広大でとても感動しました。僕が一番の思い出はホームステイです。ホストファミリーに会う時、とても緊張していましたが、ホストファミリーは、英語があまり話せない僕にゆっくり話しかけてくれました。アメフトの試合に行ったり、モーターボートに乗せてくれたりと、普段は絶対に経験できない貴重な体験ができました。

森島琉希明

■ホストファミリーに会う時、緊張と期待が入り交じった気持ちで胸がいっぱいでした。しかし、実際にジェナと話してみると、英語を話すことができない私たちのことを



ホームカミングパレード。

考え、簡単な言葉でゆっくりと話してくれました。そして、楽しい日々はあっという間に過ぎていきます。私は、この経験で将来の夢をしっかりと持つことができました。メノモニー市で出会った人たちのことを絶対に忘れず、海外の人と国内の人を繋ぐことのできる職に就きたいです。

伊澤玲美

■日本を出発した時、アメリカに行けることや、これからの9日間の生活を楽しくにしています。到着するまでは、私の英語が現地の人達に通じるかとても心配で怖かったです。しかし、ホストファミリーは笑顔で出迎えてくれ、市内のいろいろな観光地を巡っているうちに、緊張や心配事は無くなりました。別れるときは、寂しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいでした。この滞りを通して、素晴らしい体験をする事ができました。これらの思い出は私の心に刻まれ、一生の宝物です。

東原芽以

●主な派遣日程●

- 9月24日(月)…那須烏山市を出発、羽田空港からミネアポリス空港へ。バスでメノモニー市へ
- 25日(火)…グリーン農場やキャディ・ウッドラン生家、ローラ家などを見学。生徒は30日までホームステイ。
- 26日(水)…ホームステイ先の生徒とメノモニー中学校で授業に参加
- ～28日(金) うち26日は、オークラウン小学校を訪問し、日本文化を紹介
- 29日(土)…ホームステイ先の家族と過ごす
- 30日(日)…ホームステイ先の家族と過ごし、さよならパーティーへ参加
- 10月1日(月)…ミネアポリス空港出発
- 2日(火)…羽田空港へ到着後、バスで那須烏山市へ

●派遣団員●

- 団長…岡安明子 (学校教育課)
- 団員…森島琉希明・伊澤玲美 (南那須中3年)、東原芽以 (烏山中3年)、相馬圭佑・大鐘友里菜・島崎華乃・満田郁花 (烏山中2年)
- 随行…村上和史 (学校教育課)



■僕は海外へ行くことが初めてでした。到着して周りを見渡すと、アメリカに来たことを改めて実感することができました。学校に行くと、日本の学校と違い、授業でパソコンを使うことが多く、慣れていることに驚きました。休日は、ホストファミリーと遊び、ボートに乗りました。モノモニの自然の素晴らしさを感じることもできたので、とても楽しかったです。モノモニの人々は良い人ばかりで、また会えることを楽しみにしています。

相馬圭佑

トファミリーと対面した時、私は「仲良くなりた」という気持ちでいっぱいでした。私は、ファミリーとおしゃべりをして過ごす時間が一番楽しかったです。ファミリーのことをたくさん知るうちに、親しくなることができました。そして、自分で英語が話せる喜びと、自分のことを知ってもらえる喜びがありました。

■ホストファミリーは笑顔で私を迎えてくれて、毎日楽しく過ごすことができました。パンケーキやフレンチトーストなどを一緒に作ったり、みんなでキャンプファイヤーをしたりなど、たくさんの思い出ができました。学校では、多くの人が「Hi!」と声をかけてくれたり、日本語であいさつや



お世話になったホストファミリーと記念撮影。

自己紹介をしてくれたりと親切に接してくれました。私は、別れの時、涙が止まりませんでした。もっと英語を勉強し、またモノモニ市に行きたいです。

■初めて海外に行くため、アメリカでの生活になじめる心配でしたが、到着した途端そんな心配は自然と無くなっていました。私は海外派遣を通して学んだことがあります。それは、アメリカは土地が広いだけではなく、人々の心も広いということです。私が、単語がわからなかったとき、ホストファミリーもミドルスタールの生徒も、最後まで一生懸命理解しようとしてくれました。とてもうれしく、アメリカ人の心の温かさを感じました。

満田郁花

全国土地改良事業団体連合会長表彰

久郷浩さんが初受賞

荒川南部土地改良区の久郷浩理事長が、10月16日(火)、宮城県仙台市で開催された「第41回全国土地改良大会」で全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞しました。

久郷さんは、平成13年11月の荒川南部土地改良区の設立とともに理事に就任。平成24年4月には理事長に就任しました。同土地改良区の取り組みとしては、市と防災協定を結ぶ東京都豊島区との都市農村交流事業や休耕地などを活用

したひまわりの植栽、猿久保田んぼ公園でのほたる観察会など、地域の人々と協力し、環境整備や保全活動を行っています。

表彰を受け、久郷さんは、「高齢化などにより後継者が不足しているが、後継者育成のため、地域保全会および農事組合法人ファミリーあらんと協力して若者を受け入れ、休耕地などを無くし、自然豊かなこの地域を次の世代につなげていきたい。また、農村と都



市長を訪問した久郷さん。(右)

市との交流事業を続けていき、交流の場や自然と触れ合う体験を提供したい」と話していました。

「良い歯」で青木静江さんが

8020推進財団理事長賞受賞

平成元年(1989年)から厚生省(当時)と日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という8020(ハチ・マル・ニイ・マル)運動で、南1丁目の青木静江さんが8020推進財団理事長賞を受賞しました。

84歳で24本の歯を保ち、ほとんど歯医者に行かないという青木さん。良い歯の秘訣は、「バランスの良い食事をとり、朝晩



8020推進財団理事長賞を受賞した青木さん。

しっかりと歯磨きをすること。特に夜は念入りに磨いている」と話していました。



芸術の秋を
楽しむ！

那須烏山市

文化祭



烏山公民館で行われた芸能大会。



▼烏山体育館で行われた
作品展示。



▲書道に挑戦。

10月27日(土)、28日(日)を中心に、市文化祭(同運営委員会主催)が、烏山公民館や烏山体育館などで開かれました。
烏山公民館では、27日に芸能大会が開かれ、民謡や舞踊、三味線など芸能活動に取り組む団体や個人が、ステージ上で練習の成果を披露しました。28日には、市文化協会茶道部による茶会が開かれ、本格的なお手前で参加者にお茶を振舞いました。
烏山体育館では、両日、市民や文化協会員から募集した文芸や書、美術、工芸などの作品が展示され



クラフトバンドでクリスマスの飾り作り。



ディンプルアート体験。

ました。また、書道やディンプルアート、押し花などの無料体験も行われ、多くの市民でにぎわいを見せました。そのほかの会場でも、菊花・盆栽展や囲碁のつどいなど様々な催しが行われました。

英語や外国の文化を楽しく学ぶ ハロウィンディキヤンプ

11月10日(土)、烏山公民館で「ハロウィンディキヤンプ」が開かれ、市内の小学3年生から6年生までの24人が参加しました。

これは、子どもたちの英語をはじめとした外国語活動、地域への興味関心を高め、共に活動することで友情と信頼を深めることなどを目的に開催されているものです。

当日は、ハロウィンの由来や仮装などについて学んだほか、フラッシュカードゲームで英語を話したり、パンピングボックスやペーパーバッグを思い思い



ウォークラリーでお菓子をもらう子どもたち。

にデコレーションするクラフトをして楽しみました。

その後、自分でデコレーションしたペーパーバッグを持ち、市内を巡るウォークラリーが行われ、元気いっぱい「トリックオアトリート」と唱える子どもたちの姿が見られました。

境小学校6年の今関光汰さん(上境)は、「クラフトやゲーム、ウォークラリーをして、とても楽しかった。ウォークラリーでは、『トリックオアトリート』をしっかりと覚え、たくさんおかしをもらったのでよかった」と笑顔を見せました。



キャンプ参加者で記念撮影。

「市政の発展や福祉の増進に尽力、
多世代で支え合う家族の絆に表彰」

那須烏山市表彰式

市では、10月28日(日)、市政の発展や様々な分野で活躍する人・団体などを表彰する「市表彰式」を烏山公民館で開催しました。

式典では、特別功労表彰、市政功労表彰、文化大賞、まちづくり貢献賞およびまちづくり貢献賞として位置づけられている4世代以上同居家族3世帯に川俣純子市長より表彰状が授与されました。



表彰状を受け取る受賞者。

市政の発展に尽力された大谷範雄氏より感謝の言葉が述べられました。

受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略、()内は功績)

■特別功労表彰

・大谷範雄(市長)・栗田芳子(統計調査員)・興野一美(市消防団長)・山田清(那須南農業協同組合長)

■市政功労表彰

・高野清志(保護司)・滝口一(保



受賞者のみなさん。

護司)・高野博(保護司)・塩谷哲

(保護司)・大成正芳(保護司)・

栗田光正(保護司)・小口勝壽(那

須南農業協同組合理事)・平山清

隆(那須南森林組合代表理事)・齋

藤勉(那須南農業協同組合理事)・

沼田邦彦(市議会議員)・久保居光

一郎(市議会議員)・渡辺健壽(市

議会議員)・青島睦治(市文化財保

護審議会委員)

■文化大賞

・那須烏山市立南那須中学校(ジ
オパーク構想に関する取り組み)

■まちづくり貢献賞

・福澤悦子(広報紙文芸欄短歌選
者)・菅野國博(大金駅初代名誉駅
長)・荒川南部土地改良区(農村環
境保全活動、都市農村交流事業を
推進)・柳田京子(婦人会会長)・
図書館ボランティア「たんぽぽ」
(読書活動を推進)

■まちづくり貢献賞(4世代同居 家族表彰)

・鈴木マサ子ご家族・小池吉造ご
家族・平澤真ご家族

境地区市政懇談会を開催

地域住民の様々な意見を市政に反映させる市民参加の場として、自治会主催による「市政懇談会」が開催されています。11月2日(日)には、境地区自治会の市政懇談会が旧境保育園を会場に開かれ、各自治会長のほか、川俣純子市長や國井豊副市長、田代和義教育長および関係課長が参加しました。

懇談会では、防災関連や旧境小学校の今後の活用などについて21項目の意見が出され、それぞれの意見に対し、川俣市長が市の考え方や今後の取り組みなどを説明しました。



那須烏山市・和光市スポーツ交流会 ミニバスで親交を深める

11月3日(土)、「那須烏山市と和光市スポーツ交流会」が烏山小学校の体育館で開催されました。

これは、平成8年から防災協定を締結している埼玉県和光市と、スポーツをとおして市民相互の一層の親睦を図ろうと平成19年から開催されているものです。

当日は、ミニバスケットボールの交流戦が行われ、本市から120人、和光市から45人が参加。子どもたちは交流を楽しみながら熱い戦いを繰り広げました。



ミニバスケットボール交流試合。

市消防団通常点検

非常時に備え防火・防災意識を高める

11月11日(日)、那須烏山市消防団(渡邊兼一団長)による通常点検が大桶運動公園で開かれ、消防団員や市内2つの中学校の少年消防隊員434人が参加しました。

この点検は、非常時に備え、服装や機械器具、放水などを点検することで市民の防火・防災意識を高めつつ、団員の士気高揚を図るため毎年行われているものです。

当日は、各種点検、講評が行われたほか、消防活動に貢献した団員や団体に対する表彰が行われました。その後、場所を烏山市街地に移動し、烏山中央公園から山あげ会館までの区間で、団員と消防車両による分列行進が行われました。



団員と消防車両による分列行進。

県消防協会長表彰などの受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■栃木県知事表彰

▽模範消防団員表彰：滝宏、荒井裕明

■栃木県消防協会長表彰

▽功績章：河又伊佐男

▽勤続章

【35年】 皆川孝行

【30年】 久保田隆行

【25年】 福田長弘、平野健彦、山口浩一、西原潔、小室悟

【20年】 平山聡、人見昌貴、谷口孝弘、小貫貴則、青木政博、滝口隆行、笹川秀城、久郷佳彦、佐藤操、高瀬慶一、増山体司、関保男、古家武人、大野晃一

【15年】 田島信秀、齊藤篤志、関澤智、大野裕二、山村太一、岡山哲也、萩原英雄、澤村和彦、齋藤

裕久、小原澤孝市、小口寛之、荒井正嗣、小西隆、大野洋幸、鈴木祐介、松本和明、樋山俊之、佐藤勝行、石澤和也、川野辺里美、田嶋潤、高橋慶彦、古家章生、大竹良樹

【10年】 山口幸男、両方博幸、中山寛行、高津戸裕章、久保居剛、小川允土、山内崇、越雲聖太、檜山敏大、黒須剛史、福島康宏、石毛雄史、高柳光宏、小田戸豊行、平塚学、山村信幸、生魚貴宏、荒井敏充、石川政貴、青木信人、黒須秀人、青木直也、柴崎忠之、水井典彦、木村隆弘、佐藤一洋、手塚正浩、零倫文、川又篤、中山陽樹、鈴木聡

▽親子消防団員表彰：大笹久幸・臣人、鈴木幸二・雄介、野尻孝一・浩貴

▽退任役員感謝状の贈呈：興野一美

■栃木県消防協会南那須支部長表彰

▽功績章：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範

▽兄弟(兄妹)消防団員表彰：横山勇樹・渋井久徳・いずみ、関善央・三男、黒須秀人・大森豊

■那須烏山警察署長表彰

▽感謝状の贈呈：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範

▽功績章：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範

▽兄弟(兄妹)消防団員表彰：横山勇樹・渋井久徳・いずみ、関善央・三男、黒須秀人・大森豊

■那須烏山警察署長表彰

▽感謝状の贈呈：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範

▽功績章：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範

▽兄弟(兄妹)消防団員表彰：横山勇樹・渋井久徳・いずみ、関善央・三男、黒須秀人・大森豊

■那須烏山警察署長表彰

▽感謝状の贈呈：滝宏、齊藤幹生、柳沢充範



放水点検。

烏山信用金庫が市内の小学校に横断旗寄附

11月9日(金)、烏山信用金庫(東原民範理事長)から市内5つの小学校に、横断旗50本が寄附されました。これは、同信用金庫の創立70周年を記念し、未来ある地域の子どもの登下校時の見守り活動のために寄附されたものです。

横断旗は今後、教職員や地域のボランティアが使用し、子どもたちの見守りに活用されます。

横断旗を寄附する東原理事長。



4年ぶりの!

山あげ祭フォトコンテスト結果発表

今年、4年ぶりに開催された「山あげ祭フォトコンテスト」の結果が発表され、応募作品66点の中から、加藤明菜さん(那珂川町)の作品「世代を超えてのガチバトル」が最優秀賞に選ばれました。

また、最優秀賞のほか特選2点、準特選3点、特別賞9点が選ばれました。作品は今後、山あげ会館での展示や山あげ祭に関連するチラシなどでの活用が検討されています。

最優秀賞以外の入賞者は次のとおりです。(敬称略)



最優秀賞に選ばれた加藤さんの作品。

秋の褒章 篠崎昌久さん 交通安全活動で藍綬褒章

11月2日(金)、秋の褒章が発表され、福岡の篠崎昌久さんが、交通安全活動で藍綬褒章を受章しました。

篠崎さんは、昭和57年に鳥山南那須(現那須烏山)交通安全協会西支部の理事に就任以来約36年間、農業や不動産業の傍らで同協会長などの役職を務め、交通事故防止活動に力を注いできました。

自身が会長を務める那須烏山交通安全協会の活動として、子どもたちを交通事故から守るため、市内2つの中学校に入学する新1年生に反射タスキの寄贈を長年にわ

たり続けています。

また、篠崎酔月の雅号で県川柳協会会長や広報なすからすやま文芸選者も務めています。得意分野の川柳を活かし、始めたのが「交通安全川柳」で、安全運転などを訴える川柳を募り、優秀作品を沿道に掲示するなど、交通事故防止を啓発しています。

平成29年度には、交通安全国民運動中央大会において、交通安全章「緑十字金章」も受章しています。



藍綬褒章を受章した篠崎さん。

篠崎さんは、「市民全員に交通安全を心がけてもらえるよう活動してきた。今後も、1件でも多く事故を減らしていければ」と話していました。

第42回子ども絵画コンクール 中下くんの作品がルーブル美術館に

住友生命主催の「目指せ！ルーブル第42回子ども絵画コンクール」小学校1・2年生部門で江川

小2年の中下陽斗くん(上川井)が全国審査で銀賞を受賞しました。

このコンクールは、未来を担う子どもたちの心豊かな成長を支援することを目的に開催されているもので、今年も、「おもいでキラキラ」をテーマに作品が募集されました。

全国審査会で入賞した特別賞、金賞、銀賞の105作品が、パリの



銀賞を受賞した中下くん。

ルーブル美術館に展示されます。

中下くんは、「自分の1番楽しかった思い出の『魚つかみ』の絵を描いた。選ばれたと知ったときはびっくりした」と笑顔で話していました。

作品は、平成31年1月12日(土)から14日(月)まで東京都の東京タワーフットタウン地下1階タワーホテルで、平成31年3月8日(金)から4月8日(月)までルーブル美術館に展示されます。

市内の小学生が 珠算大会で大活躍!

▽特選…高橋尚義(那須塩原市、別作品で準特選)、丸目盛之(宇都宮市、別作品で準特選)
▽準特選…大野和三(那須烏山市)
▽特別賞…郡司久美子(那須塩原市)

市)、澤田千代美(宇都宮市)、不破隆夫(埼玉県入間市)、鈴木一也(那須烏山市)、檜山正高(宇都宮市)、草信純雅(埼玉県さいたま市)

10月8日(月)にちぎ健康の森で開催された「第54回栃木県珠算競技大会」で、市内の珠算塾に通う荒川小6年の小松和佳乃さん(鴻野山)が個人総合競技小学5・6年生の部で優勝、4年の小松直生さん(鴻野山)が読上算競技小学4年生の部で優勝、鳥山小6年の高瀬良太さん(南1丁目)が読上暗算競技小学5・6年生の部で優勝、4年の檜山雅友さん(南1丁目)が個人総合競技小学4年生の部、読上暗算競技小学4年生の部で優勝、2年生の檜山義友さん(南1丁目)が個人総合競技小学2年生以下の部、読上暗算競技小学2年生以下の部で優勝を果たしました。

同日開催された全日本通信珠算競技大会栃木県大会では、檜山(雅)さんが小学4年生以下の部で優勝、小松(和)さんが小学校の部で準優勝の成績を収めました。

小松(和)さんは、「次の検定で7段に合格したい」、小松(直)さんは、「次は2種目で優勝したい」、高瀬さんは、「そろばん5・6段と暗算8段に合格したい」、檜山(雅)さんは、「今回の結果に満足せず、もっと腕を磨きたい」、檜山(義)さんは、「お姉ちゃん(雅友さん)と一緒にもっと上を目指したい」と意気込みを語りました。



後段左から、小松(和)さん、檜山(雅)さん、高瀬さん、檜山(義)さん、小松(直)さん。

烏山高生が駅からハイキング

11月18日(日)、烏山高の生徒が市内を案内し、おもてなしなどをするウォークイベント「駅からハイキング」が行われ、市内外から64人が参加しました。

このイベントはJR東日本大宮支社が主催するもので、今回は、同支社、那須烏山市、高根沢町、栃木銀行で構成するJR烏山線沿線まちづくり推進協議会と烏山高の協力により開催されました。

今回、烏山高生が考えたのは、JR烏山駅を起点に、市街地の観光スポットやスイーツ店を巡る約10キロのコース。烏山高金井キャンパスで、本市を舞台に撮影された映画「YOU達HAPPY映画



金刀毘羅神社での烏山城の解説。



茶華道部によるおもてなし。

版ひまわり」のパネルを展示し、解説が行われたほか、金刀毘羅神社では、今年築城600年を迎えた烏山城の解説が同校まちづくり研究会の生徒により行われ、参加者は真剣に耳を傾けていました。山あげ会館前では、同校郷土芸能部によるお囃子の演奏が行われました。また、烏山高では、茶華道部により抹茶とお菓子が振舞われ、参加者の疲れを癒しました。鹿沼市から参加した川田勉さんは、「自然やスイーツなど、那須烏山市を五感で感じながら巡ることができ、とても楽しかった。また次回も参加したい」と話していました。

烏山語りの会第12回発表会 会員9人が語りを披露

11月18日(日)、烏山語りの会(大喜正昭会長)による「第12回記念発表会」が烏山公民館で開催され、約150人が訪れました。

同会による発表会は毎年行われており、今回は会員により「稲積城の由来」や「バイパスのおいほぎ」、「お城を救った牛と蛭」など9つの民話が披露されました。また、同会に語りを教えた仲信代さんにより「蜘蛛の糸」が語られ、訪れた人々を楽しませました。

大喜会長は、「たくさんの市民の皆さんに支えていただいて毎年発表会ができています。今後も発表会を続け、文化の伝承や地域おこしにつなげていきたい」と話していました。



大勢の観客の前で語りを披露する会員。

烏山中学校で

創立70周年を祝う記念式典開かれる

11月2日(日)、創立70周年を迎えた烏山中学校で「烏山中学校創立70周年記念式典」が行われ、在校生や教職員、PTA、同窓会の関係者など約470人が出席しました。

同校は、昭和22年に現在烏山運動公園となっている場所に建設され、その後、昭和54年に現在の場所に移転しました。

式典では、同窓会長の三森文徳県議が、「本校を巣立つまでに自

分らしい花を咲かせられるよう努力してほしい」とあいさつ。内藤雅伸校長が、「80年、90年、100年と歴史を迎えられるよう、一丸となって学校運営に携わっている」と話しました。

また、記念行事として郷土芸能部によるお囃子の演奏や「大地讃頌」の全校合唱、作家の喜多川泰さんによる「挑戦する勇気が未来を拓く」と題した記念講演が行われました。



内藤校長によるあいさつ。

在宅医療のあれこれ Part 8

栃木県烏山健康福祉センターは、平成8年度までは「烏山保健所」という名称でした。

那須烏山市と那珂川町が管轄地域となっています。

当センターでは、県民のみなさんが「安心して暮らすことができる『とちぎ』」を目指し、住み慣れた地域で、自分らしく生活できるよう関係機関と連携しながら、下記のとおり相談などを行っています。

①難病・小児慢性特定疾病に関する相談

難病患者・家族のみなさんが、安心して療養できるように医療費助成や関係機関との連絡調整、患者会・医療生活相談会の紹介など、保健師による相談を行っています。

平成30年4月1日現在で、難病医療費助成制度の対象となる疾患は331疾患です。詳しくは、当センターまでお問い合わせください。

②こころの健康相談

悩みや不安が続くと、不眠や食欲不振、疲れやすい、人と会うことが億劫になるなど、心や体に様々な症状が出る場合があります。ひとりで抱え込まず、相談することが大切です。

■精神科医師による相談（精神保健福祉相談）

毎月1回実施しています。予約が必要ですので、事前にご連絡ください。

■保健師による相談

祝日を除く月曜日～金曜日を実施しています。

保健師が不在の場合もありますので、事前にご連絡ください。日程を調整します。

③肝炎に関する相談

肝炎の治療をする人に、検査費用や医療費の助成、保健師の相談を行っています。

医療費助成の対象となるのは、B型・C型肝炎ウイルスの感染による肝炎です。

その他、健康に関して心配なことや気になることなどがありましたら、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

栃木県烏山健康福祉センター

☎0287-82-2231

※祝日を除く月曜日～金曜日の午前8時30分から午後5時15分までにご連絡ください。

消費者コラム②

消費者ほっと♥らいふナビ

賃貸住宅の契約①借りるとき

「衣・食・住」の中でも、「住まい」は生活の拠点となる特に重要なものと言えます。賃貸住宅（借家）を「住まい」とするときも、借りる人が安定的な生活の拠点を確保できるように、借地借家法・民法などの法律で借主を保護していますが、賃貸借契約では、借りるとき、借りたあと、退去のとき、それぞれの場面で様々なトラブルが生じることがあります。こうしたトラブルに遭わないために、気をつけたいポイントをご紹介します。

【物件は必ず現地に行って確認を】

現地や部屋を見ないで契約することはやめましょう。トラブルの原因を自ら作ることになります。物件の状況や周辺環境を自分の目と足で確認しましょう。できれば、昼と夜、晴天時と雨天時など違う環境でチェックすると良いでしょう。極端に賃料が安い等の物件には、必ず理由があるはずで

【契約前に説明をしっかりと聞く】

不動産業者（代理または仲介の場合）には、契約の前までに借主に「重要事項説明書」を交付して説明することが義務付けられています。重要事項説明は、契約をするかどうかを判断するための重要なものです。不明な点は遠慮なく質問して確認しましょう。

【契約の締結と入居】

契約書は、その内容をよく確認したうえで記名・押印するようにしましょう。特約がある場合、借主に不利な特約であっても原則有効ですので、その内容をよく確認しましょう。

鍵の受け取りの際、仲介業者または貸主（できれば両方）立ち会いのもとで、部屋の現状を確認のうえ、「入・退去時の確認チェックリスト」を作成するようにしましょう。貸主側の立ち会いができない場合でも、借主だけでもチェックリストを作成し、その上で部屋の現状写真（日付入り）も撮影しておきましょう。



那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188（局番なし）」へご相談ください。

市長と商工会青年部がタウンミーティング

どっちなっている？ 那須烏山市の20年後

那須烏山商工会青年部（榎山敏大部長）は、11月1日（木）、那須烏山商工会館でタウンミーティングを開催し、同青年部員や住民など約60人が参加しました。

これは、市の今後について将来的に責任を持つことになる若い世代が考えていることを川俣純子市長と議論しようと、同青年部員を対象に開催され、タウンミーティング実行委員会（阿島武志委員長）が企画したものです。

ミーティングでは、「20年後に自社は存続しているか」、「20年後に市は存続しているか」といったアンケートの結果をもと

に、市の抱える問題として設定された、①経済（企業誘致・産業創出）、②市のプロモーション戦略、③ソフトとハードどちらを優先するか、といった3つのテーマを設定。当日は、川俣市長から市を取り巻く状況や課題、今後の施策などの説明を受けたのち、議論が行われました。

終盤には、参加者から山あげ祭期間中の宿泊施設の問題解決策や、自然を活用した市のPR方法などの意見が出されました。川俣市長は「みなさんの知恵を借りて、少しずつでも良いまちづくりをしていきたい」、阿

島委員長は「突発的な企画にもかかわらず、良い議論をすることができた。第2回目も必ず開催したい」と話していました。



活発な意見交換が行われたタウンミーティング。



秋そばの味や香りを確かめる協議会会員。

八溝そば街道推進協議会

新秋そばの出来を確認

八溝そば推進協議会（國井豊会長）による「新秋そば試食会」が、11月8日（木）、城東のそばサロン「梁山泊」で開かれました。試食会には、同協議会の会員など40人が参加。秋そばの出来栄を確認しました。

秋そばは、そば本来の味を楽しむことができるのが特徴で

す。今年は、台風の影響がありました。今年も味がのっけているそうです。

那須烏山そば生産者組合の吉田幸一組合長は、「今年のそばはとて良くできたので、おいしく食べてもらい、口コミなどでたくさんの方に八溝そばを広めてもらいたい」と話していました。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。
総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

ここなす姫、からすまる、やまごんの竹はり画が寄贈されました！

真岡市文化協会部会長の菅谷康さんにより、本市のイメージキャラクター「ここなす姫」、「からすまる」、「やまごん」の竹はり画が本市に寄贈されました。

竹はり画とは、孟宗竹や真竹を使用し、竹が本来持っている自然の美しさと柔らかさを生かして表現する日本でも類を見ない工芸品で、昭和59年頃に茨城県古河市の竹細工職人によって考案されたといわれています。

菅谷さんは、「作品をみなさんに見ていただき、市や竹はり画の



川俣市長に竹はり画を手渡す菅谷さん。

PRにつながってほしい嬉し

七合公民館まつりとどろんこ田んぼ収穫祭 約130人の人出でにぎわう

市、七合会（木村保司会長）、大桶地域みどり保全会（木村義二会長）では、11月11日（日）、「七合公民館まつり」と「どろんこ田んぼ体験事業収穫祭」を七合公民館で開催しました。

当日は、地域住民や若鮎クラブの子どもたちなど約130人が参加。体験事業で10月に収穫した古代米を使った赤飯や、地元野菜をふんだんに使った豚汁つきたての餅などが振舞われ、

参加者は舌鼓を打ちました。

また、興野農産物加工所による加工品の販売や餅つき体験なども行われ、餅つきを楽しみむ子どもたちの姿が見られました。

館内では、公民館まつりとして市職員により今年築城600年を迎えた烏山城の解説や市内の観光地について説明されました。恒例となっている作品展では、地域住民から集められた油絵や押し花、写真、水彩画、盆



毎年大人気の大鍋で作った豚汁。

裁などの作品が展示され、訪れた人々を楽しませました。

烏山小の児童69人が 牛の乳しぼりにチャレンジ



乳しぼりを体験する児童。

酪農とちぎ青年部那須南支部（小口和則支部長）では、11月20日（火）、烏山小学校で酪農体験事業の一環として、「乳しぼり体験」と「バター作り体験」を行いました。

事業には、同校の2年生69人が参加。同支部メンバーに乳のしぼり方を教わったあと、体験がスタートしました。初めは間近で見る大きな牛に緊張した様子でしたが、慣れない手つきで一

長谷川遼さん（南二丁目）と富岡雄希さん（城東）は、「最初は、牛が大きく怖かったけれど、触ってみるとあたたかく、優しくかったので楽しく乳しぼりができた。自分たちで作ったバターもおいしくできたので良かった」と笑顔で話していました。

また、小口代表は、「実際に牛を見たことがある子どもたちが少なくなっていると思う。事業をとおして、様々な動物たちが命を削ることにより私たちが生きていくことができていると知り、ありがたみを感じてもらいたい」と話していました。

文芸コーナー短歌選者 福澤悦子さんが勇退 次月号から滝口節子さんへバトンタッチ

広報紙文芸コーナーの短歌選者である福澤悦子さん（旭1丁目）が、今月号を最後に、選者を勇退することになりました。

福澤さんは、平成23年6月号から広報なすからすやまの文芸選者に就任し、ご活躍されてきました。今までを振り返り、福澤さんは、「毎月、投稿者のみなさんの心のこもった歌を楽しく選ばせていただきました。とても楽しい年月でした。ありがとうございました」と話していました。

この場をお借りし、御礼申し上げます。福澤さん長い間ありがとうございました。



次号からは、福澤さんのご推薦により、滝口節子さん（志鳥）に選者をお願いすることになりました。

滝口さんは、「たくさん作品の投稿を楽しみにしています。児童・生徒のみなさんも、ぜひ、投稿してください」と語ってくれました。

滝口さん、これからよろしく願いいたします。

福澤さん。



滝口さん。



おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所
 加藤 香奈子(隆行・奈津美)旭2丁目
 豊田 晃久(浩之・麻衣子)初音
 鈴木 俣月(滉平・李香滝)田
 関 虹(愛・雄太・あゆみ)八ヶ代
 萩原 晴人(和弘・望)旭1丁目
 小池 秋奈(知道・穂香)福岡
 大森 羽音(豊・紗耶香)南1丁目
 荒井 陽斗(亮太・由恵)藤田
 相川 真璃(芳輝・真由子)初音
 服部 すずな(修・早生)旭2丁目
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第4回宏倫少年少女剣道錬成大会
 (10月14日(日)那須烏山市武道館)
 「中学1年生女子の部」▽準優勝・菊池 優奈(宏倫剣道)
 ●秋季婦人バレーボール大会 10月15日(月)～18日(木)南那須中体育館
 ▼優勝・からーず ▼準優勝・藤田 ▼第3位・四ツ葉
 ●第12回会長杯(混合)ソフトボール大会 10月15日(月)～17日(水)緑地運動公園
 ▼優勝・こぶし台SBC ▼準優勝・荒川南 ▼第3位・八ヶ代志鳥スワング
 ●平成30年度第58回栃木県高等学校陸上競技新人大会 (9月15日(土)、16日(日)、佐野市運動公園)
 「4x400MR」▽優勝・宇都宮高校

(塩野目友都)
 ●平成30年度栃木県民スポーツ大会 (空手道競技) (10月28日(日)、栃木県南体育館)
 ▼優勝・那須烏山市 峰岸翔太、寺澤寿仁、寺澤大雅
 ●第13回那須烏山市秋季市民ソフトテニス大会 (10月28日(日)、緑地運動公園)
 「中学生男子の部」▽優勝・伊藤優希、桑原天(烏山中) ▼準優勝・手塚輝、渥美朔太郎(南那須中) ▼第3位・矢野雄大、奈良豊正(南那須中)、石川大雅、岡大翔(烏山中)
 「中学生女子の部」▽優勝・伴伊純、小濱瑠唯(南那須中) ▼準優勝・久郷来夢、武石心花(南那須中) ▼第3位・塩野目亜海、関谷美鈴(烏山中)、赤羽姫那、神山凜(烏山中)
 「一般の部」▽優勝・仲山信之、大野雅幸

▽準優勝・木下光司、澤村祐毅 ▼第3位・村田優奈、村田正章
 「シニアの部」▽優勝・澤村絹代、丸山ミツイ ▼準優勝・坂主慶子、平野幸子 ▼第3位・姿和夫、大山賢一
 「ランドシニアの部」▽優勝・古内晴代、久保田葛子 ▼準優勝・佐藤万里子、荒時敏夫 ▼第3位・大崎美佐子、今井保二

AD賞★

●危険業務従事者叙勲
 ▼瑞宝单光章・仲山勝司(月次)、水井和男(野上)
 ●8020推進財団理事長賞
 ▼関元気(小埜)

未来を創ろう地域と農業 合併20周年記念JAまつり

11月3日(土・祝)、4日(日)、JAなす南本店で「合併20周年記念JAまつり」が開催され、約2万人が会場を訪れました。
 当日は、農産物の品評会や販売、地産地消を促すにっこり梨重量当てクイズのコーナー、和牛肉・豚肉の消費拡大コーナーなど数多くのブースが並びました。ステージでは、恒例となった梨の皮むき大会や南那須中学校・烏山高校の吹奏楽部の生徒による演奏などが行われ、会場は盛り上がりを見せました。また、会場中央に設置されたやぐらでは、がらまきが行われ、大勢の人が参加しました。



にっこり梨の皮むき大会。

編集後記

○もうすぐクリスマスです。色々な場所で流れているクリスマスの音楽を聞くともわくわくして幸せな気持ちになります。クリスマスツリーやプレゼント、チキンにケーキ、子どものころは、「いつサントさんが来るのかな?」と心待ちにしていました。
 ○今年もデコレーションケーキを作ろうと思っているのですが、ショートケーキにするか、チョコレートケーキにするか、とても悩んでいます。どっちも好きだから選べないんですよ〜(笑)
 ○また、クリスマスが過ぎるともう年末なの!と毎年驚きます。みなさんは今年、どんな1年になりましたか?? 私は、楽しいことがたくさんあり、あつという間な1年でした。でも、もう少し挑戦したかったこともあったかも??
 ○今年も残り1か月。思い残すことのないよう、頑張りたいと思います!



Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『才能の正体』 坪田 信貴
『昭和の怪物七つの謎』 保阪 正康
『払ってはいけない』 荻原 博子
『やわらかいごちそう』 川上 文代
『医者が考案した「長生きみそ汁」』 小林 弘幸
『ほったらかし掃除術』 松橋 周太呂
『ムンクへの招待』 朝日新聞出版
『傍らにいた人』 堀江 敏幸
『猫がいなけりゃ息もできない』 村山 由佳
『宮部みゆき全一冊』 宮部 みゆき
『先生、ちょっと人生相談いいですか?』 瀬戸内 寂聴
『ラストラン』 あさの あつこ
『白いジオラマ』 堂場 瞬一
『夜のリフレイン』 皆川 博子

★児童図書★

『どちらがおおきい?はかってみよう』 藤子F不二雄
『いじめ 心の中がのぞけたら』 本山 理咲
『5分でドキドキ!超胸キュンな話』 夜野 せせり
『世界のはてのペンギン・ミステリー』 岡田 貴久子
『ソロモンの白いキツネ』 ジャッキー モリス
『おならひめ』 有田 奈央
『だいじょうぶだよ』 長谷川 和夫
『だいこんさんおふるにはいる』 岡田 よしたか
『それしかないわけないでしょう』 ヨシタケ シンスケ
『くまぱん』 上田 恵子

2018.11.1現在
()対前月比

人口 25,687(-31)

男 12,740 女 12,947

出生 14 死亡 26

転入 52 転出 71

世帯数 9,371

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

障子はる腕前かなり鈍くなり

川俣登志子(旭)

廃校の庭に戯る赤とんぼ

古内 晴代(金井)

落鮎を食べて笑顔の家族かな

須田 孝子(城東)

雪激したただ一人降る無人駅

小針 久子(月次)

川柳

篠崎 酔月 選

さまざまな姿形で長寿会

羽石 妙子(向田)

ポランテア目指し始めた英会話

吉澤 恒子(落合)

知らぬ人元気話題にして過ごす

南 美保子(福岡)

悩んでも眠れなくとも夜は明け

早津 悦子(野上)

短歌

福澤 悦子 選

麗しき日本の四季よ夏去れば山茶花菊にこころ安らぐ

水上 キヨ子(志鳥)

わが庭に縁ありて咲く螢袋何を秘めるやのぞき見せむか

吉澤 紅月(南)

年老いてホームに入りし人生は日々たのしかりこれでもいいのか

平野フミ子(向田)

七曲口より入りて本丸へ城跡めぐる一時間半

柳 つしま(中央)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

ふるさと応援寄付金

■ふるさと応援寄付金

小林昌彦様(東京都豊島区)から5千円、
江口佳行様(千葉県松戸市)、菅原征司様(北海道札幌市)から各1万円、町田伸男様(小山市)から1万7千円、鈴木和憲様(神奈川県横浜市)から3万5千円、匿名希望者様15人から計30万6千円が本市に寄附されました。

■市奨学基金寄附金

秋山久様(東京都小平市)から2万円が寄附されました。

■市立図書館図書寄贈

秋山久様(東京都小平市)から「君は玉音放送を聞いたか ラジオと戦争」が寄贈されました。

街に賑わいを興す会 おもてなし部会で大活躍

街に賑わいを興す会では、10月14日(日)の烏山城築城600年記念イベントのおもてなし部会として、受付やグッズの販売、お茶の提供などのボランティアを行いました!



おもてなしを行った街に賑わいを興す会のみなさん。

シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編⑧～

駅からハイキング

11月18日(日)にJR東日本大宮支社主催の「駅からハイキング」を実施し、県内外の64人に参加いただきました。今年度は、烏山駅を出発し、泉溪寺、烏山高金井キャンパス、山あげ会館、烏山高、金刀毘羅神社、烏山公民館、和紙会館、ふるさと民芸館と烏山市内を歩き、JR滝駅に到着するというコースでした。

烏山高校では、まちづくり研究会による烏山城の説明、生徒会による那須烏山市が舞台の映画の説明、茶華道部による抹茶とお菓子のおもてなし、郷土芸能部によるお囃子の演奏、美術部によるスタンプラリーの景品作成、有志生徒による道案内など、合わせて60人ほどの生徒がおもてなしに関わりました。

今まで烏山について研究してきたことや部活動で練習してきたことを県内外の多くの人の前で披露することができ、とてもよい経験になった一日でした。



生徒の声 2年 佐藤 漢さん (興野)

「駅からハイキング」では、金刀毘羅神社で神社や烏山の歴史について説明をしました。まちづくり研究会で準備したパネルを使って、烏山城があった頃、金刀毘羅神社がどのような場所にあり、どのような役割をしていたかについて紹介をしました。

県内外の多くの人に那須烏山市の魅力を伝える事のできる良い機会になりました。また、参加者の中にはお城に詳しい人もおり、その人と話をして那須烏山市や烏山城の歴史についてもっと調べてみたいと思うようになりました。



校外学習の様子。

地層観察に役立つ曲畑のローム層
 曲畑地区内に、大きな露頭を観察できる場所があります。この地層は、関東ローム層といい、火山の噴火によって降り積もった火山灰でできています。これまでの回で紹介した荒川層群や八溝層群等の各地層を覆う更新世中～後期の風成層です。
 この地帯は以前、川だったと言われており、この地層の生い立ちは、河川↓川の近くの低地↓草原↓森林↓火山の降灰↓大

地の浸食・尾根の形成↓草原↓森林↓軽石の堆積↓草原↓森林↓現在の土壌となっています。
 軽石層の部分は、男体山の噴火に伴い降り積もったものです。
 縞模様の観察をとおして大地の生い立ちを考えることができ、礫や砂、泥、火山灰などの岩石の種類の違いが分かりやすいことから、教育の場として市内の小・中学校の校外学習でよく利用されています。教育面においても重要なジオサイトの一つです。

那須烏山ジオパーク構想だより ⑩

「見どころ紹介」